



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,094	△17.9	△121	—	△129	—	△76	—
24年3月期第2四半期	4,985	△31.8	△329	—	△278	—	△247	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △73百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △250百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.61	—
24年3月期第2四半期	△14.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,878	65.1	5,785	65.1		
24年3月期	9,246	63.3	5,850	63.3		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,777百万円 24年3月期 5,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,178	11.2	326	—	380	—	400	—	24.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報 (注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,806,900株	24年3月期	22,806,900株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	6,259,410株	24年3月期	6,259,410株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	16,547,490株	24年3月期2Q	16,547,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの企業の復調や個人消費に回復の兆しが見られるものの、海外では、欧州の債務危機問題等に起因する円高の長期化、中国等の新興国経済の伸び悩みにより、依然不透明な状況が続いております。

このような厳しい経済環境の中、当社グループにおいては、円高による売上の減少が今後数年間続くとの判断を踏まえ、前期に「希望退職の募集、事業資産集約等の事業構造改善（リストラ）」を実施しました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、製造装置の売上計上時期のズレにより前年同四半期と比べ890百万円（17.9%）減収の4,094百万円となりましたが、上記リストラ効果により、営業利益は207百万円増の△121百万円、経常利益は148百万円増の△129百万円、四半期純利益は171百万円増の△76百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、プロジェクター市場において、業務用・学校教育用プロジェクター等の需要は、先進各国を中心とした世界景気の減速が依然続いているにもかかわらず、堅調な推移に戻ってきましたが、円高が依然として大きく影響し、プロジェクター用ランプの売上高は、前年同期比42.2%減の739百万円となりました。一般照明ランプについては、節電が叫ばれる中、LEDランプの販売が順調に伸びてきており、またハロゲンランプ等従来ランプについても堅調な推移をみせ、前年同期比20.8%増の821百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおいては、前年同期比58.9%減の138百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比22.7%減の1,983百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置への投資等、意欲的な投資環境に対応するため、積極的に新装置の開発、及び受注に取り組み、主として、今下期以降の売上につながる受注を順次獲得しております。

当第2四半期連結累計期間においては、納入した大型案件（中国）の製造ラインの検収が遅れた結果、売上高は前年同期比32.6%減の953百万円となりました。

通期の見通しでは、近時の状況として、中国現地における検収の遅れ、新製品タッチパネル開発の遅れにより、一部の売上計上が次期にずれの見込みです。

③検査装置事業

検査装置事業につきましては、前期新たに開発したS-Lightを積極的に展開、またスマートフォン、タブレット端末用のマクロ検査装置（探傷検査装置）の納品、UV露光装置の納品がありました。当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比36.9%増の307百万円となりました。

④人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、更なる営業強化を図っておりますが、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比2.7%減の920百万円となりました。

セグメント別売上高、営業利益

(単位：百万円、%)

セグメント	前第2四半期連結累計期間			当第2四半期連結累計期間		
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益
ランプ事業	2,566	51.5	△1	1,983	48.4	118
製造装置事業	1,413	28.4	△127	953	23.3	△95
検査装置事業	224	4.5	△24	307	7.5	17
人材派遣事業	945	19.0	50	920	22.5	10
調整額	△165	△3.4	△227	△70	△1.7	△172
合計	4,985	100.0	△329	4,094	100.0	△121

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ201百万円減少しております。主な増加は現金及び預金462百万円、仕掛品256百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金839百万円、商品及び製品54百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円減少しております。主な減少は有形固定資産109百万円、のれん30百万円であります。

その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ4.0%減少の8,878百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少しております。主な増加はその他に含まれております前受金487百万円であり、主な減少は短期借入金300百万円、支払手形及び買掛金102百万円、その他に含まれております未払金73百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ185百万円減少しております。主な減少は長期借入金96百万円、繰延税金負債56百万円であります。

その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ8.9%減少の3,092百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少しております。主な減少は利益剰余金76百万円であります。

その結果、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1.1%減少の5,785百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間における自己資本比率は、前連結会計年度末の63.3%から65.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年11月9日）公表の「平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,638,928	2,101,492
受取手形及び売掛金	2,808,368	1,968,384
商品及び製品	273,739	219,647
仕掛品	551,960	808,696
原材料及び貯蔵品	547,780	524,822
その他	253,768	232,969
貸倒引当金	△23,484	△6,317
流動資産合計	6,051,062	5,849,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	910,752	887,059
土地	1,190,227	1,190,227
その他(純額)	579,254	493,617
有形固定資産合計	2,680,234	2,570,904
無形固定資産		
のれん	120,411	90,308
その他	122,607	106,768
無形固定資産合計	243,019	197,076
投資その他の資産		
その他	319,898	308,012
貸倒引当金	△47,381	△47,381
投資その他の資産合計	272,517	260,631
固定資産合計	3,195,770	3,028,612
資産合計	9,246,832	8,878,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,992	649,212
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	572,330	513,920
未払法人税等	18,793	6,039
賞与引当金	131,414	130,774
製品保証引当金	14,178	14,107
工事損失引当金	44,193	10,472
その他	534,698	925,140
流動負債合計	2,567,600	2,449,665
固定負債		
長期借入金	237,800	141,200
繰延税金負債	297,841	241,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
その他	292,776	260,813
固定負債合計	828,417	643,164
負債合計	3,396,018	3,092,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	2,718,104	2,641,753
自己株式	△1,567,420	△1,567,420
株主資本合計	5,847,728	5,771,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,085	6,370
その他の包括利益累計額合計	3,085	6,370
新株予約権	—	7,730
純資産合計	5,850,814	5,785,478
負債純資産合計	9,246,832	8,878,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,985,486	4,094,562
売上原価	3,992,237	3,055,203
売上総利益	993,248	1,039,359
販売費及び一般管理費	1,323,028	1,161,201
営業損失(△)	△329,780	△121,842
営業外収益		
受取利息	86	60
受取配当金	3,575	3,639
業務受託手数料	102,640	1,200
負ののれん償却額	20,076	20,076
貸倒引当金戻入額	—	17,695
雑収入	17,676	8,667
営業外収益合計	144,055	51,338
営業外費用		
支払利息	8,221	8,571
為替差損	51,745	12,118
投資有価証券評価損	32,436	23,298
シンジケートローン手数料	—	13,000
雑損失	85	1,987
営業外費用合計	92,488	58,975
経常損失(△)	△278,212	△129,478
特別利益		
固定資産売却益	17,633	—
特別利益合計	17,633	—
特別損失		
事業構造改善費用	30,004	—
特別損失合計	30,004	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△290,584	△129,478
法人税、住民税及び事業税	7,867	5,187
法人税等調整額	△50,805	△58,315
法人税等合計	△42,937	△53,128
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△247,646	△76,350
四半期純損失(△)	△247,646	△76,350

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△247,646	△76,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,110	3,284
その他の包括利益合計	△3,110	3,284
四半期包括利益	△250,757	△73,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△250,757	△73,065
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△290,584	△129,478
減価償却費	207,650	156,572
のれん償却額	13,371	10,026
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,373	△640
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,247	△17,167
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△88,374	△33,721
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,240	△70
受取利息及び受取配当金	△3,662	△3,699
支払利息	8,221	8,571
投資有価証券評価損益(△は益)	32,436	23,298
固定資産売却損益(△は益)	△17,633	—
売上債権の増減額(△は増加)	189,225	839,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	△163,078	△179,685
未収入金の増減額(△は増加)	15,726	4,303
前渡金の増減額(△は増加)	128,482	△91,289
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,141	△102,780
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,091	49,651
未払金の増減額(△は減少)	△145,170	△84,351
前受金の増減額(△は減少)	△90,026	487,441
事業構造改善費用	30,004	—
その他	347,636	△10,751
小計	153,809	926,211
利息及び配当金の受取額	3,690	3,727
利息の支払額	△8,209	△5,857
法人税等の還付額	16,875	58,388
法人税等の支払額	△283,234	△17,196
事業構造改善に伴う支出	△5,830	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,899	965,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△80,161	△30,062
有形固定資産の売却による収入	2,974	73
無形固定資産の取得による支出	△62,047	△1,604
投資有価証券の取得による支出	△63	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,298	△31,659

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△300,000
長期借入金の返済による支出	△99,810	△155,010
設備支払手形の増減 (△は減少)	2,808	△746
設備未払金の増減 (△は減少)	△526	△4,011
リース債務の返済による支出	△66,331	△11,283
配当金の支払額	△91,011	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254,870	△471,050
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△507,068	462,563
現金及び現金同等物の期首残高	1,597,737	1,608,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,090,668	2,071,433

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,566,348	1,333,449	182,863	902,823	4,985,486	—	4,985,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	79,952	42,126	43,125	165,237	△165,237	—
計	2,566,382	1,413,401	224,990	945,949	5,150,723	△165,237	4,985,486
セグメント利益又は損失(△)	△1,430	△127,036	△24,406	50,595	△102,278	△227,501	△329,780

(注) 1 セグメント利益の調整額△227,501千円には、セグメント間取引消去3,653千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,154千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,965,279	952,925	296,020	880,337	4,094,562	—	4,094,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,991	150	11,961	40,221	70,324	△70,324	—
計	1,983,271	953,075	307,981	920,559	4,164,887	△70,324	4,094,562
セグメント利益又は損失(△)	118,158	△95,852	17,833	10,245	50,384	△172,227	△121,842

(注) 1 セグメント利益の調整額△172,227千円には、セグメント間取引消去△40千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,186千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。